

▼INDEX▼

■【内部監査情報】
・平成28年度 競争的資金の監査が始まります。

■【会計監査人監査情報】
・会計監査人の選任について

■【監査ニュース】
・東京学芸大と群馬大「重大な改善事項」 国立大評価委 外2件

■【連載企画】
・小○はつらいよ「文書管理に関する監査の結果報告」編

■【お知らせ】
・人事異動について
・【Audit Mail 案内】の配信方法が変わります（予告）

■【Audit Cafe】
・「大事なルールほど、法律で決まっていない」～伊坂幸太郎『モダン・タイムズ』より～

表題写真：夕焼け



内 部 監 査 情 報

・平成２９年度 競争的資金の監査が始まります。



平成29年度の「競争的資金の監査」が、7月6日（木）から8月31日（木）までの期間で16部局を対象に行われます。監査の対象となるのは、平成28年度に執行した科学研究費助成事業（科学研究費補助金）や受託研究費等の競争的資金です。

監査当日の進行を円滑に進めるため、監査対象部局の皆様には「自主点検リスト」による事前チェックをお願いしているところです。

監査対応への準備等で大変お忙しいこととは思いますが、引き続きご対応のほど、よろしくお願いいたします。また、監査対象とはなっていない部局の皆様におかれましても、「自主点検リスト」を日常業務の自主点検として活用していただければ幸いです。

★「自主点検チェックリスト」はココをクリック★

【内部監査計画・報告】の詳細は、コチラ↓

……………………………………………………………………………………

http://www.bureau.tohoku.ac.jp/audit/2-2index.html

……………………………………………………………………………………

会計監査人監査情報

・会計監査人の選任について

文部科学大臣から、平成29年6月9日付で本学の平成29年度会計監査人として、『有限責任監査法人トーマツ』を選任した旨の通知がありました。

本件は、7月4日開催の運営企画会議及び7月18日開催の部局長連絡会議でもご報告させていただく予定です。

本学の会計監査人は、平成28年度に『新日本有限責任監査法人』から『有限責任監査法人トーマツ』に交代し、今年度は2年目となります。

会計監査人監査の対象部局となった際は、引き続きご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

「会計監査人」とは？

国立大学法人は、「国立大学法人法」において、毎年度「財務諸表」を文部科学大臣に提出する前に、会計監査人からその内容が「適正である」という「お墨付き」を頂かなければならない事となっています。

このため、本学においても、文部科学大臣の「選任」を受けた会計監査人による「監査」を受けています。

この「会計監査人」とは、「会社の計算書類などを会計監査することを主な職務としている人」のことで、「監査法人」または「公認会計士」のみが就任出来ることになっています。

【会計監査人監査】の詳細は、コチラ↓

http://www.bureau.tohoku.ac.jp/audit/2-2index.html

監査ニュース

・東京学芸大と群馬大「重大な改善事項」 国立大評価委【6/6 日本経済新聞】

・セクハラで教員を諭旨解雇　鹿児島大【6/16 産経新聞】

・患者 220 人の個人情報漏洩か 阪大医師の個人メールサーバーに中国から不正アクセス

【6/26 産経新聞】

連載企画



生まれも育ちも栗原築館、姓は小○ 名は卓也、人呼んで フーテンの卓 が引き起こす様々な出来事を、
なぜか国立大学法人業務に長けた 妹 が見事に解決していくコーナー！
回を重ねるごとに「卓」という人物の謎は深まるばかりですが・・・第10回目となる今回は、
「文書管理に関する監査の結果報告」というお題についてご説明します。

卓） あれ？つい最近、「文書管理に関する監査」の記事を見たような気がするのだが･･･勘違いかな？

妹） お兄ちゃんよく覚えていたわね！今年の3月号で、法人文書ファイルの管理にあたっての留意点を紹介したところよ。今回は、28年度に実施した文書管理に関する監査の監査報告書が完成したから、どのような指摘があったのかを紹介するわね。お兄ちゃんも参考にしてね。」

平成28年度に実施した「文書管理に関する監査」について、5月17日（水）付けで、監査対象部局に対し監査結果をお送りしました。今回は、当該監査で見受けられた事例やポイントをご紹介していきたいと思います。

事例1：文書の決裁

部局の内規に専決の取扱いを定めているものの、実際の決裁は規定どおりに行われていなかった。

専決とは、決裁者が事務処理上の決定権を内部的に下位の職にある者に任せ、当該下位の職にある者が決裁者に代わって決裁することをいい、専決を行う者を**専決者**といいます。

「国立大学法人東北大学における文書の取扱いに関する規程」の第21条において、「文書の速やかな処理を図るため必要があるときは、専決者を定めて専決させることができる」と定められています。よって、当該条文に基づき部局等において専決に係る内規や申合せ等を定めた場合には、専決を行うことができます。

＜例1＞

（専決の基準）
第２条　内規別表第３の７に基づき、専決事項の細目及び専決者を次の表のとおり定めるものとする。

専　決　事　項	名義者	専決者
監査担当者の指名 国立大学法人東北大学内部監査規程第５条第２項第２号（監査室に所属する職員以外の者で、内部監査の遂行上必要があるものとして監査室長が総長の承認を得て指名）	総　長	監査室長

（「国立大学法人東北大学監査室における文書の専決に関する申合せ」より抜粋）

＜例1＞の申合せによると、『監査担当者の指名』は専決事項であり、専決者は『監査室長』です。よって、「『総長』がその決定権を『監査室長』に任せ、『監査室長』が『総長』に代わって決裁する」取扱いとなります。

なお、専決においては、次の2点に注意しましょう。

①**専決は、専決者が決裁者の認印を代わって押印するものではない**。したがって、**起案文書への認印は、専決者までの認印まで**となる。

＜例1＞の場合、起案文書への認印は専決者である『監査室長』までとなりますので、原議書の決裁欄は下のようになります。

総　長	担当理事	監査室長	監査スタッフ	起案者

②**専決は、内部的に合理的で能率的な事務処理を目的として行うものである**。したがって、**決定権はあくまで決裁者にあり、文書の発信名義者は決裁者の名で表示**する。

＜例1＞で言うと、『監査室長』が専決により『監査担当者の指名』に対し承認を与えたとしても、その決定権は『総長』にあり、文書を発信する場合、その名義者は『総長』の名で表示しなければならないということです。

事例2：文書の収受

文書処理簿が作成されていなかった。

日々の業務において、官公庁や他大学、関係団体等から文書を受け取る機会があると思います。**文書は、送付元の意思表示であるため、正確に収受し処理しなければなりません。**

文書を収受する場合、**文書処理簿**に次の事項を記入することとされています。

①文書記号及び文書番号
②受付年月日
③相手先の文書記号・文書番号、発信年月日
④発信者
⑤受信者名
⑥件名
⑦その他当該文書の処理上必要な事項
（例：開封しないと主管の係等が把握できない封書等を、文書担当係（文書の収受・発送等を担当する係）で開封し確認した場合、送付先として確認した主管の係等の名称を記入します。）

文書処理簿を整備のうえ、「国立大学法人東北大学における文書の取扱いに関する規程」や「法人文書マニュアル」（平成 28 年 3 月、総務企画部法務課発行）を参照し、正しい文書の収受を行いましょう。

事例3：文書の整理

法人文書ファイル管理簿に記載の文書ファイル名と、現物の法人文書ファイル名が、異なっているものが見受けられた。

事例4：文書の保存

法人文書ファイルとそれ以外の文書ファイルが、同じ書庫で保管されていたり、同じ書式の背表紙が使われていたりするなどして、区別しにくい形となっていた。

これらの事例については、平成29年3月号のおうでぃっとめーるで、考えられるリスクや有効と思われる方策等をご紹介しています。ぜひご参照ください。

事例5：法人文書ファイル管理簿の記載

法人文書ファイル管理簿上の文書の保存場所と実際の保存場所が、異なっているものが見受けられた。

法人文書ファイル管理簿は、本学における法人文書ファイル等の管理を適切に行うために、個々の法人文書ファイルを記録する帳簿です。

毎年度1回、総括文書管理者である副学長（法務コンプライアンス担当）から、法人文書ファイル管理簿の更新について依頼があり、総務企画部法務課より送付される作業要領に基づき、各部局等において管理する法人文書ファイル等の現況について、法人文書ファイル管理簿の更新作業を行う運用となっています。

法人文書ファイル管理簿には記載すべき項目がいくつかありますが、**保存場所**もその一つです。保存場所が法人文書ファイル管理簿に正しく記載されていないと、特定の法人文書ファイルを使用する必要が生じた際に、「どこにあるのか分からない・・・」といった事態になりかねません。逆に、どんなに古い法人文書ファイルであっても、法人文書ファイル管理簿に正しく記載されていれば、ファイルを見つけ出す手助けとなります。

なお、保管する文書量が年々増加傾向にあることや自部局のスペースの都合から、複数の場所に分散させて保管していることがあるかと思います。もしかすると、一見、文書が保管されているとは思えない部屋も、保存場所として使用されていることもあるかもしれません。こうした場合に、法人文書ファイル管理簿に正しく保存場所を記載していないと、文書管理者や文書管理担当者が文書の保存場所として認識できず、適切な管理ができないことや、どこかにあるだろうと思っていたせいで紛失事案の発覚が遅れるといったリスクが、一層強まることが考えられます。

そのようなリスクを抑えるためにも、**保存場所を正しく把握し、法人文書ファイル管理簿にきちんと反映させることが大切です。**

卓）　法人文書ファイル管理簿の更新作業は、先日やったばかりだよ。管理簿の『保管場所』欄は、つい面倒になって全部『事務室』で整理したくなるけど、後々その文書を探すことを考えたら、実際の保管場所をきちんと書いておいた方がいいんだな・・・。

妹）　そうね。開示請求が来た時も速やかに対応出来るし、『文書の管理に関する監査』でも、無作為に抽出した文書の保管場所を実際に見に行ったりしているから、管理簿は実態に合わせた形で整理しておく必要があるわね。でもまあ、しょっちゅう居なくなるお兄ちゃんを探す方がもっと大変かもね。

卓）　それを言っちゃぁ、おしまいよ。

このコーナーでは、皆様からの疑問・質問をお待ちしています。
日頃の業務の中でのちょっとした疑問（なんでこんな作業が必要なのだろう）や、
いまさら上司や先輩に聞けないけれど、実はよく理解できていないことなど、
いただいたご質問には出来る限り誠意をもってお答えします！
ご質問は、メール、ファックス、お手紙で！（匿名でも大丈夫です）

お 知 ら せ

・人事異動について

平成29年6月30日付け及び7月1日付けの人事異動の発令がありました。
監査室に関係するものとしては、次のとおりです。

【6月30日付け】
辞職　　長 井 孝 行 監事付

【7月1日付け】
監事付（兼）監査スタッフ（課長補佐）　菅 野 浩 幸
（旧職名：医工学研究科事務室長）
監査スタッフ（主任）　深 沢 優 介
（旧職名：総務企画部法務課法規係主任）
平 野 直 樹 監査スタッフ（係長）⇒ 医工学研究科事務室長



新体制となった監査室を、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

・【Audit Mail 案内】の配信方法が変わります（予告）

『おうでぃっとめーる』の配信案内は、これまで伝達フローを利用してお知らせしてまいりましたが、来月発行予定の平成29年8月号より、全教職員掲示板を利用したお知らせへと変更させていただきます。
ご担当者の皆様には、これまで部局等内へ配信・公開いただき、ありがとうございました。
引き続き、『おうでぃっとめーる』をよろしくお願いいたします。

Audit Cafe

毎月、監査室のスタッフが交代で「つぶやく」このコーナー！
今回のつぶやきは、「大事なルールほど、法律で決まっていない」～伊坂幸太郎『モダン・タイムズ』より～
と言うお題のようです。いったいどんな話になることやら・・・。

4回目の投稿となります。
日々、平々凡々と暮らしている中でネタになるエピソードを模索しておりましたところ、高校時代を思い出すきっかけがありましたので事の顛末を記したいと思います。

最近、我が家で流行りのアニメがある。
『ハイキュー!!』というテレビアニメをご存じだろうか。
高校バレーボールを題材にした、宮城県の架空の高校バレーボール部が
全国大会を目指す物語である。



視聴のきっかけは、娘1号が、物語の舞台が宮城県ということで、高校は架空であるが、大会で使用される『仙台市体育館』が妙にリアルであるということを友人から聞きつけ、姉妹で新体操に励んでいた際、何度か『仙台市体育館』を利用させていただいたので、どれほどリアルなのか確認しようとしたのが始まりである。

当初の目的は、『仙台市体育館』がいかにリアルに描かれているかを確認するためであったが、次第にスポーツ根性もののストーリーに引き込まれ、現実ではありえないようなトスやスパイクの描写に一喜一憂し、架空の高校とは知りつつも、「作品中のこの高校は、実在するこの高校がモデルではないか」とか、ストーリー以外にも楽しませていただいている。

原作はマンガで連載中ということだが、アニメでは宮城県大会の決勝戦まで放送済みで、今後の放映予定は把握していない。



なぜ、このくだりから始まったかというと、娘たちから **両親は高校時代に何の部活をしていたのか** という会話から始まる。

妻は陸上部だったという。高校入学時、新設校1期生ということもあり、先輩がおらず【楽しく】活動していたらしい。

私は山岳部だと話すと娘たちいわく、部活動のイメージができないらしい。オリエンテーションとは違うのか？自然と親しむ以外どのような活動を行っていたのか？問われたので、昔を思い出しながら、備忘録的に記したいと思う。

～序章～

部活動の思い出の前に、母校のことを記したい。

宮城県の北部に位置する我が母校は男子校（現在は共学である）であり、旧制中学以来の伝統を受け継ぐ『バンカラ』スタイルで、１年生は学帽に高下駄、腰に手ぬぐいが基本だった。

校内では「おはよう」も「こんにちは」も「さようなら」もすべて『**押忍（オス）！**』で挨拶を交わしており、入学後に行われる対面式（新入生歓迎会）で、いやというほど先輩の恐ろしさを思い知り、『質実剛健』、『文武両道』がモットーゆえ、基本、何れかの部活動に所属するのが、鉄の掟であり、**部活選びも命がけの状態**だったのを今でも覚えている。

ここで、対面式を紹介したい、在校生（２、３年生）が新入生と言葉のとおり対面するわけだが、この式で、応援団の皆さまから先輩への挨拶の仕方、購買でのパンの買い方、先輩の自転車を追い越すときの所作等々が身をもって教わることとなる。

式の内容は次のとおりだ。

体育館の中、入り口より離れた所から『在校生』『応援団』『新入生』の順番で、『応援団』を挟み胡坐をかいた状態で対面する。

応援団は団旗を掲げており、決して旗を床に着けてはならない。（着いた瞬間、団旗を掲げている団員は他の団員から優しい言葉をかけられ、その場が地獄絵図と化す）

そして、先に説明したが、挨拶の基本は『押忍（オス）！』である。
応援団から手本を示していただき、手本通り挨拶をするのだが

新入生　『オス！』

先　輩　『**聞けね**（聞こえない）！』**（ドドドドドドド）**

新入生　**『オス！』**



先　輩　『**うるせ**（うるさい）！』**（ドドドドドドド）**

というコントのような活が入り、新入生はその時点で自分が選択した学校に間違いがなかったのか自問自答する。

また、先輩からの優しい言葉の後に**（ドドド）**の効果音が入るが、我が母校の上履きは雪駄（ゴム草履）が基本であり、先輩は雪駄を両手に持ち、床を打ち鳴らし新入生を激励するのである。

さらに、パンの購入は、入荷が少ない【みんなが大好きな総菜パン】に当たっては、特に１年生は先輩を敬い、【譲り合いの精神】が必須となることが語られるが、譲り合う精神以前の問題であることは、この場に集められている時点で、むしろ気付かない訳がない。

続いて、先輩の自転車を追い越すときの所作については、先輩自ら披露していただく。

先　輩　『今から、先輩の自転車の追い越し方を教える！**よぐ みでろ**（しっかり見ていなさい）』

新入生　『オス！』

先輩が披露する追い越し方は、エアチャリ（あたかも自転車に乗っているような華麗なパフォーマンス）がコミカルであり、一瞬でも、場が和む。

また、嘘のような話だが、先輩を追い越す際は、

『１年○組　青葉太郎　先輩　追い越します！』

と宣言し、追い越す際は立ち漕ぎしてはならず、あくまでもスマートに行うのが我が母校の伝統あるルールだ。
先輩の説明だけでこのまま終わってほしいと誰しもが願ったはずであるが、先輩の一言で新入生が凍り付く。

先　輩　『○**組**○**番　たで**（立ってもらえますか）！』

級　友　『**オス！**』

※　新入生に『オス！』以外選択の余地はない
聞こえるだろうか、緊張のあまり裏返った声が
分かってもらえるだろうか、説明できない絶望感を
ここから個人戦となるが、前の挨拶での模様（『**聞けねー！**』）が繰り返される
立ち上がった級友に同情の気持ちと、明日は我が身という複雑な気持ちが混在し、
これが大人になるってことなのかと思った同輩も多いはずだ

寸劇は続き、先輩がエアチャリを漕ぎ始める。
指名された級友は、全校生徒の前で、始めてのエアチャリで、緊張のあまり、声が震え、体が震え、立っているのがやっとの状態だ。

優しい先輩方から『自転車に早く乗れ！』、『スタンドが上がっていない』、『後方確認していない』、と心温まる声援が続き、級友が先輩を追い越すため『先輩、追い越します』の宣誓は、先輩の声援にかき消され、『追い越すスピードが速い（遅い）』の追加注文が級友を打ちのめす。

このような、心温まる先輩とのふれあいに、学校生活で先輩と密接にかかわる部活動は、繰り返しになるが、大げさでなく**命がけ**だ。

そんな、私にも、部活動を選択する機会が訪れる。
対面式後、右も左もわからない校内で、先輩から声をかけられる。

『**おめら、コーヒー飲まねが！**（君たち、コーヒーを飲まないかい！）』　と・・・

話の途中だが、高校時代を思い出し、以前読んだ本の中にこんな一文があったことを思い出す。

「大事なルールほど、法律で決まっていない」

思い出話が長くなり申し訳ございません。最後まで読んでいただいてありがとうございます。
つづき？は、またの機会にと思います。

（監査室S）

最後までお読みいただきまして誠にありがとうございました。
引き続き、「おうでぃっとめーる」をどうぞよろしくお願い申し上げます。
バックナンバーは、監査室 WEB ページをご覧ください。

◆その他、各種お問い合わせは…

【電話でのお問い合わせ】
東北大学監査室
022-217-4874（監査室長：佐藤）
022-217-5680，4880（菅野、小原、綱川、深沢、杉山）

【メールでのお問い合わせ】
東北大学監査室
kansa@grp.tohoku.ac.jp

メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。
© 2010 Audit Office Tohoku University